

## 滑り臺

武蔵野 東條 環

日溜り小溜まり 滑り臺

光が跳ねて 踊つてさ

行きは登りで 段數へ

歸りは滑るよ スルスルスル

蒼空眺めて スルスルスル

お尻も温くないな スルスルスル。

お池にや 小波 白い波

白鳥も浮んで ゆうらりさ

緋鯉も見えるよ 臺の上

僕が先頭で スルスルスル

影も一緒に スルスルスル

後から後から スルスルスル。

日溜り小溜り 滑り臺

廣告氣球もうつとり 夢見てさ

遠くでサイレン 鳴つてゐる

どこかの小父さんも スルスルスル

お犬を抱いて スルスルスル

僕も負けない スルスルスル。

山桜 昭和九年十二月号

詩人時代 昭和十年四月号

( 童謡 )